



旅立ち

間近かの白鳥

今年も旧途別川に白鳥が訪れました。この白鳥が北国に旅立つころには、永かった冬も終りを告げ幕別にも本格的な春の季節がやってきています。

まぐべつ

'80

4

339

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴー印刷

昭和五十五年度予算決まる

生活環境 教育施設

を重点に整備

昭和五十五年度の町づくりに使われるお金は、一般会計・特別会計合わせて八十五億五千六百六十九万六千円と決まりました。五十四年度六月補正予算後と比較いたしますと、五億五千九百八十三万一千円、七%の伸びとなります。五十五年度は、生活環境の整備と教育施設の建設を柱に魅力ある地域づくりを目指し予算編成が行なわれました。五十五年度予算のなかから皆さんの身近なことについてお知らせいたします。



予算案を審議する議会

三月八日から開かれていた第一回定例町議会において、昭和五十五年度予算は、一般会計六十四億一千百七十七万二千円、特別会計二十一億四千五十二万四千円合わせて八十五億五千六百六十九万六千円と決まりました。

五十四年度当初予算は、町長・町議会議員の改選期であったため義務的経費と継続事業を基にした骨格予算の編成を行いました。このため、改選後行なわれた六月議会において、新規事業など十六億円を補正しました。

六月補正後（七十九億九千八百八十六万五千円）と比較いたしますと、総額で五億五千九百八十三万一千円、七%の伸びとなります。

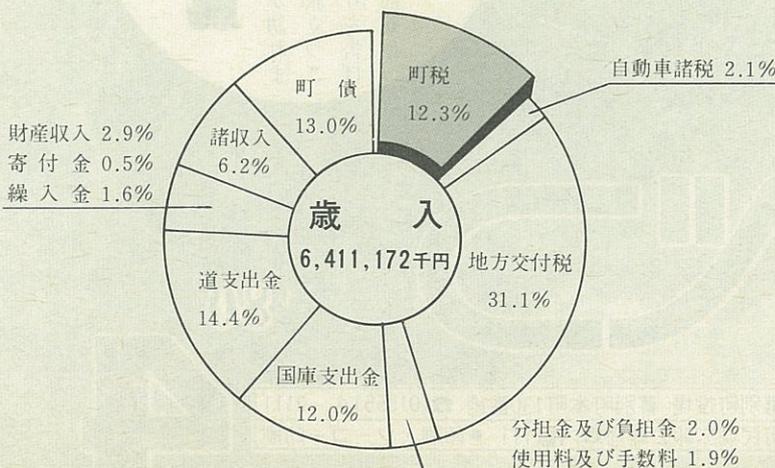
表-1 予算総額

(単位千円)

会計区別	昭和55年度	昭和54年度	伸率
総額	8,551,696	7,991,865	7.0%
一般会計	6,411,172	6,432,920	△0.3
特別会計	2,140,524	1,558,945	37.3

※54年度は6月補正後の額

図-1 歳入構成状況



石油問題から生じた社会経済の変動は、町財政にも大きく影響し、五十五年度も町財政は厳しい状況にあります。特に、町財政の主要な財源である町税は、所得の伸びが期待できなく、五十四年度六月補正後と比較一億六千五百万円、二・七%の伸びにとどまっております。このため町では、一般行政経費の節減と合理化を務めて行ない町財政の健全化を図るとともに、魅力ある地域づくりを目指して予算編成を行ないました。

また、一月十九日付をもって事業認可された札内北地区土地区画整理事業は、新たに特別会計が設けられ本格的にスタートすることになりました。



生活環境の整備

- 幹線町道など 1,876m を整備
- 青葉、止若公園を造成整備
- 処理場管理棟を建設
- 公営住宅14戸を建設

●道路

道路は町内を網の目のように走り生産と生活の両面を支えている大切なものです。町では、改良工事・舗装工事を積極的に進めます。

幹線町道では、千往十二号線道路（改良舗装）、新川三十号線道路（舗装）など十

六路線八千五百三十を、また、農道では相川北（二十号）農道など九路線八千六百を整備します。市街地では、継続事業である千代田通り街路など六街路千六百三十を整備します。

このほか、防じん処理や砂利敷きなど町道管理も積極的に進めます。

●公園

町では、豊かな自然を生かした明野が丘公園と依田公園（幕別温泉周辺）の造成を進めてきましたが、四年次目をむかえた明野が丘公園は園路と広場の造成を行ないます。また、昨年、休憩舎と噴水を建設した依田公園は園路と駐車場を造成します。

このほかに、身近かな憩いの場であり、子供たちの遊び場ともなる公園として、青葉公園と止若公園が造成整備されます。

●下水道

下水道は、雨水や日常生活から生じた汚水を処理し河川へ放流するための施設で、私たちが健康で文化的な生活を営むために欠かせない施設です。

町では、幕別市街地区を公共下水道事業で、また、札内市街地区を十勝川流域下水道事業で整備を進めてきました。

五十八年処理開始にむけ本格化してきた公共下水道事業には、五億五千万円をかけた処理施設の中核である管理棟の建設と汚水幹線千三百十六、枝線千九百九十二の埋設工事を行ないます。

十勝川流域下水道事業は、帯広市・音更町・芽室町と共同で事業が進められています。ことし町が負担するお金は四千八百六十九万円です。

●土地区画整理

発展が著しい札内北土地区画整理事業が

一月十九日付で道より認可され、本格的に事業が開始されます。

ことしは実施計画書の作成、換地設計測量が主に行なわれます。

●住宅

町民一人一人が快適な生活環境で暮らせ



健康と

福祉の充実

- 老人趣味の家の建設
- 児童館の建設
- 各種検診の実施

●福祉

福祉は生活の保障とともに心の豊かさの充実を求めるもので、相互扶助の精神が基本となります。

ことし町では、お年寄りが自分にあった生きがいを発見し楽しく充実した生活を過ごしていただくよう「老人趣味の家」を建設

るよう、町は宅地造成や公営住宅の建設を進めてきました。

ことしは札内桂町団地に一種公営住宅六戸（二棟）、新緑町団地に一種・二種公営住宅をそれぞれ四戸（一棟）を建設いたします。

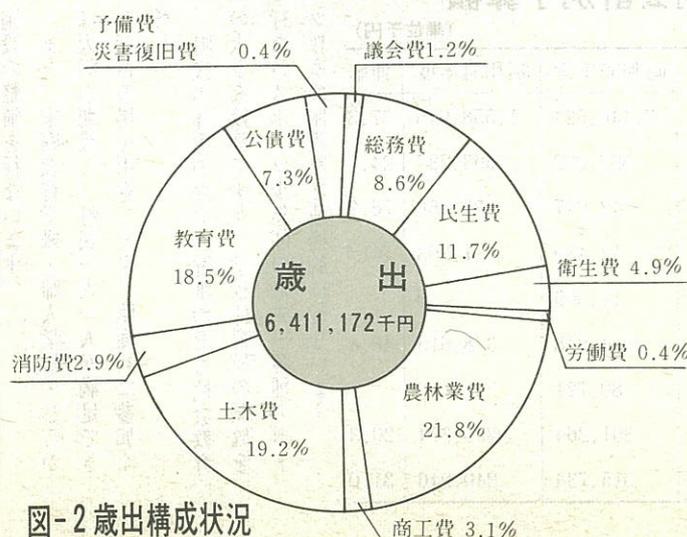


図-2 歳出構成状況

します。また、人口増加とともに共働き世帯が増加している札内地区に児童館を建設し児童保育を行います。

心身障害者の方、母子家庭、低所得世帯への施策は前年度と同じく引き続き実施します。

●保健

私たちが明るく幸せな毎日過ごすには、心身ともに健康であることです。

町では、町内の開業医のみなさんの協力を得ながらいろいろな保健活動を通して町民のみなさんの健康管理と疾病の予防に最

産業の振興



善をつくします。
最近、町内の死因別順位で、「ガン」が大変高くなっています。以前から不治の病と考えられていた「ガン」も早期発見、早期治療で完治した方が増えてきています。ことしも、婦人科・胃腸病検診など各種検診を行います。
休日と夜間の医療体制は今年も引き続き町内の開業医のみなさんご協力です。

土地基盤農村環境の整備の推進
新農業構造改善事業がスタート
魅力ある商店街づくりを推進

●農林業

町の基幹産業である農業を取り巻く社会情勢は、農畜産物の価格の不安定や米の生

産調整による水田の転作などとても厳しい状況となっております。

町では、これらの対策として土地基盤の整備や農村生活環境の整備を進め、安定した魅力ある農業経営条件の確立を目指します。
土地基盤整備事業は、事業費が高額なうえ長期間かかることから国や道の政策に頼らねばなりません。町では、国や道に対し事業の早期着手と早期完成を積極的に働きかけていきます。

(国営土地改良事業)

国営事業では、継続事業ですが古舞地区農地開発事業と相川・新川・茂発谷地区直轄明渠排水事業が行なわれます。排水路の延長は三千九百メートルです。

(道営土地改良事業)

道営事業では、西糠内第二農免農道事業がことしより新規にスタートします。総事業は延長四千二百三十九メートルを予定しています。継続事業では、軍岡地区明渠排水事業南勢・糠内地区畑総事業が行なわれます。

このほか町でもことしより新農業構造改善事業がスタートし加工馬鈴薯貯蔵庫の建設が行なわれます。

酪農振興では、酪農近代化団地育成事業自給飼料生産向上特別対策事業を積極的に推進します。

●商工業

商工業は町の経済活動のなかで重要な役割をもっています。

昨年、商工指導センターとともに商店街診断を行いました。ことしは、その結果を基に経営の改善と合理化に役立てていただき魅力ある商店街づくりを推進します。

また、中小企業融資利子補給や商工会活動の援助も行ないます。

明野工業団地道路に街路灯（水銀灯）を設置し環境整備を進めます。



教育施設の整備

札内北小学校を新設
相川小学校を増改築
駒島公民館を改築
スポーツ教室の開設

改築される相川小学校

●学校教育

学校教育では、自然や社会に対する正しい認識を深め、豊かな情操を養うとともに身体を鍛え、広い視野に立って自らの手で未来を切り開いていく力を育てる教育を推進します。

ことしも校舎の建設に重点がおかれ、人口増加の著しい札内地区に三番目の小学校

として札内北小学校（九学級）を建設します。また、老朽化した相川小学校も増改築され永久校舎（二階建）に生まれ変わります。

●社会教育

社会教育の目標は「一人一人の心の結びつきから豊かな地域社会づくり」です。
町では幼児から高令者に至るまで積極的に、各種社会教育活動を進めてきました。
地域の文化・学習活動の場となる公民館は、幕別中央公民館を中心に七地区にあります。老朽化した駒島公民館の増改築など施設の整備を行ないます。

また、家庭教育学級・婦人学級・しらかば大学を開設し、町民一人一人が満足できる学習の場を用意します。積極的に参加ください。

町民の体力の向上と健康増進も社会教育の大きな役割ですが、学校体育館の開放を行ないスポーツ少年団の育成・各種スポーツ教室の開設など積極的に行ないます。

表-2 特別会計別予算額

会計区分	(単位千円)		
	昭和55年度	昭和54年度	伸率
総額	2,140,524	1,558,945	37.3%
国民健康保険会計	822,932	663,287	24.1
簡易水道会計	42,047	23,860	76.2
駒島営農用水会計	12,439	1,863	567.7
飲料水供給会計	11,009	0	
公共下水道会計	554,378	378,615	46.4
土地区画整理事業会計	80,721	0	
国民宿舎事業会計	301,264	250,374	20.3
上水道事業会計	315,734	240,946	31.0

※54年度は6月補正後の額

新入学(園)児童を 交通事故から守ろう



四月は入学の季節です。とくに
かわいい新入学児が元気に学校へ
通う姿はほほ笑ましく、健やかに
育ってほしいと誰しもが思うこと
でしょう。ところで、新入学児を
お持ちのお母さんは、学校の行き
帰りが心配なことと思います。お
子さんを交通事故から守るため
次の点に気をつけましょう。

通学路を実際に

通学時
間に合わ

歩いてみよう

せ、お母

さんがお子さんといっしょに通学
路を何回か歩いてみましょう。

そのうえで、信号の見方や正し
い横断の仕方などについて、具体
的に教えるようにしましょう。

また、同じ道でも、曜日や時間
によって車の量や人通りなど交通
状況が変わることも、あわせて注
意しましょう。

余裕をもつて

就寝前に

登校させよう

翌日の持ち
物を準備さ

せ、当日忘れものがないよう
にしましょう。また、時間的にも
十分余裕をもって送り出すよう
したいものです。

途中で忘れものに気がついて、
あわてて取りに戻ったり、遅刻し
そうになって急いだりすることの
ないようにしましょう。

帰宅時間を

学校が終

約束させよう

つたら、寄
り道をしな

いで、まっすぐ帰宅させるように
し、帰宅時間を約束させ、しっか
り守らせることも交通事故を防止
するうえで大切です。

子供の場合は 自宅近くで事 故が最も多く 発生していま

す

「くるま社会」の中での弱者は
歩行者。とくに子供と老人の死者
が全体の六三・五%を占め、子供
の場合は自宅近くで事故が最も多
く発生しています。

昨年一年間に全国で二千九百一
人の歩行者が車にハねられて亡く

春の火災予防運動

4月20日～5月9日

火災が多発する季節です

家族全員で対策を考えましょう

一年中で最も多く
火災が発生する春を
迎え、四月二十日か
ら五月九日までの間
全道一斉に春の火災
予防運動が展開され

ます。
春は空気が乾燥し強い風が吹く
ため一年中で最も多く火災が発生
します。

去年一月から十二月までの一
年間に町内で発生した交通事故
は六十四件。この事故で一人が
死亡し八十
四人がケガ
をしていま
す。月別に発生件数をみますと
最も多かったのは九月の十二件、
以下は十二月の十一件、二月の

発生は六十四件

去年の事故
発生状況

(十六人) 九
月(十二人)、
二月(十一人)

七件、五月の六件の順。四月は
事故の発生はゼロ。
一方、傷者の多い月は十二月
八月(八人)十月、七月、五月
(七人)で死亡事故は十一月で
した。

なりました。この内訳はトップが
七十歳以上の老人で七百五十九人
二位は幼児の五百四人、以下は六
十歳代の四百五人、小学生百七十
四人の順で、子供と老人の死者は
全体の六三・五%を占めています
とくに子供の場合は自宅近く、
半径五十メートル以内で多発して
います。

こうした傾向は幼児ほど強く、
小学生では下校時が学校から帰っ
て一〜二時間後にいちばん多く死
亡事故が発生しています。
子供はひとつのことに夢中にな
りませんと、まわりのものが目に入
らなくなりやすい。車を運転する方
は、このことを知っておきたいも
のです。

昨年は全道で二千七百二十六件
の火災が発生し、うち春の四月、
五月の二か月間で全体の二三%に
あたる六百六件、また過去十年間
の平均出火件数でも四月三百十六
件、五月三百十五件も発生してい
ます。他の月は多くて二百四十一
件、少ない月で百五十二件ですの
で、春は火災のシーズンといつて
もよいほど発生しています。

今年の火災予防運動
は①幼児、老人、身体
不自由者などを中心と
した焼死事故防止、②
異常乾燥時および強風
時の火災発生防止、③防火管理体
制の確立、を重点目標として展開
します。
なお、各家庭では寝たばこの禁
止、火を使った後の確認点検のほ
か、消火および万一の場合を考え
て避難口などについて家族みんな
で話しあいをおこない、恐ろしい
火災を発生させないようにしまし
よう。

記念碑の除幕も

美川小学校で閉校式

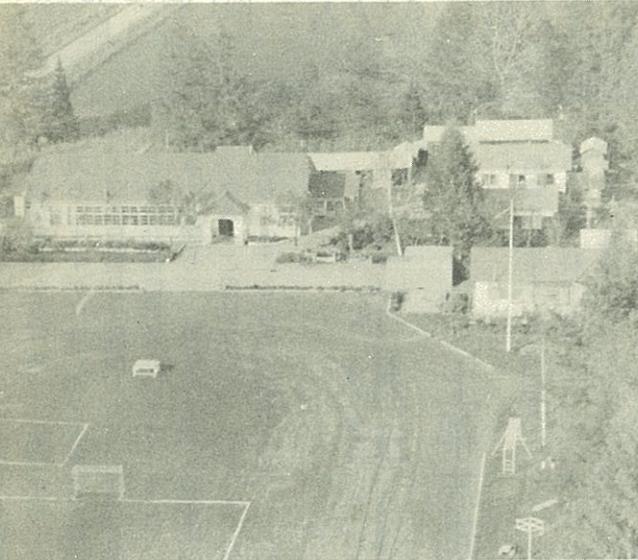
七十六年という歴史ある美川小学校が、児童数の減少から糠内小学校に統合され、三月二十三日に閉校式と懐惜会が開催されました。開拓当時の美川地区は、似平の下手に位置していたため下似平地区と呼ばれ、美川小学校の前身である下似平部落協同塾が開設されたのは明治三十七年五月でした。

翌三十八年に部落民が三百円を寄付して新校舎を建設、同四十一年には増加する児童を収容するため二十五坪の校舎を建設し、この年から校名を糠内尋常小学校下似平簡易教育所と改称、また、下似平尋常小学校として独立したのは大正六年四月のことです。
昭和七年に廃校の危機

この下似平尋常小学校が廃校の危機に見舞われたことがありました。昭和七年八月の村会で、下似平尋常小学校を廃校とする件が可決されました。

廃校の時期は勢雄尋常小学校新築校舎の完成と同時にということでしたが、校下父兄の猛反対で、十月三十一日の村会で議決を取消す議案が可決され、廃校をまぬがれていきます。廃校しようとした理由は校舎の位置が勢雄に近かったためでした。

昭和二十二年には、多年の念願であった校舎の移転新築が決定しこの年の十二月十七日に落成式を開催しています。



美川小学校の全景(上)と記念碑の除幕式(下)

このように私立時代から校地が転々と変りましたが、美川小学校の歴史を永久に地区住民の心の中に残しておこうと閉校協賛会(迎見徳明会長)を発足させ、事業として記念碑を建立したほか学校の歴史と地区の歩みを収録した立派な記念誌を発行しました。なお、閉校式には地区の方々多数が出席して美川小学校を偲んでいました。

美しくして春を待ちませんか



時折り雪がパラつきますが、本格的な春は、もう目の前に近づいています。このため、今まで雪の下となっていた半間の汚れが家のまわりや道路など、いたるところに現われてきました。皆さんが家のまわりや家の前の歩道、道路をほんのちよつとの時間をさいて掃除するだけで、幕別の町は、たいへん綺麗になることでしょう。

幕別の町を美しくして本格的な春を待ちたいものです。皆さんのご協力をお願いいたします。

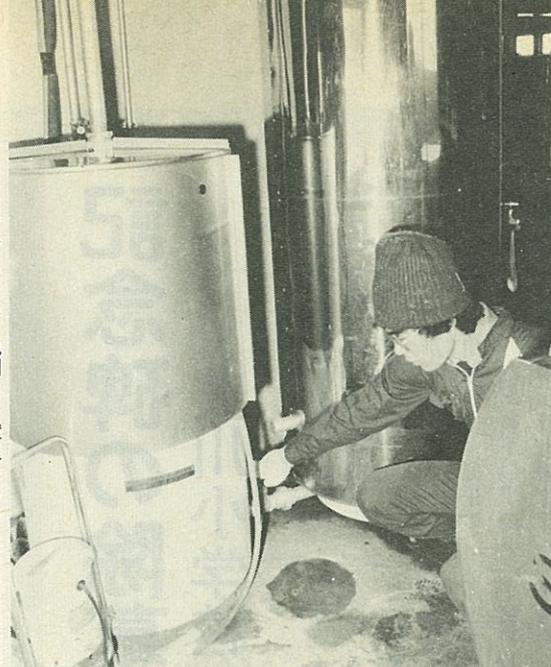
今年五年に一度の「国勢調査」の年です。国勢調査は大正九年の第一回から数えて今年で十三回目、何れも十月一日に行われてきました。ではどうして十月一日を選んだのでしょうか。その辺の事情は第一回調査の報告書を読みましよう。年末・年始の場合は「取引の決算や年賀のほか、地域によっては積雪が深くて」不適當。夏は「炎熱

国勢調査のはなし①

「国勢調査」が激しく、これまた適さな。残るは春と秋ですが春は「旅行・遊山する人が多し」ので調査時期としてふさわしくない。こうしたことから一人々の職業的活動が盛んで全人口の大半を占める農業従事者にとつてはかならずしも農繁期ではなく、かつ一年の四分の三を経過した十月一日に決めたということ

我が家の省エネ

(1)



システムを説明する俊之さん

「省エネ」は重要なエネルギー資源といわれています。刻々と値段が高くなる灯油。「値段が高くとも買えるうちは…」という方もいますが、ほとんどの家庭では室温を気にしながら石油ストーブの目盛りを調節したり、風呂を沸かすと間をおかずに入るなど自己防衛に努めています。そこで、今月号から「我が家の省エネ」と題して、町民の皆さんの実践例をご紹介します。

なお、このほかにも、いろいろな省エネの工夫をしているご家庭もあると思います。ぜひ、お知らせください。

エネルギー源は牛乳

上稲志別の伊東さん宅

酪農を専業とし多頭飼育している方は搾乳時の乳房やバルク、搾乳機器の洗浄に多量の温水を必要とし、また、牛に与える水の温度にも細心の注意をはらっています。最近の灯油価格の高騰は酪農

経営にも少なからぬ影響を与えています。

六十頭の乳牛を飼育している上稲志別の伊東昭雄さんは、バルク・クーラに特殊な冷凍機（フレ・ヒーター）を採用して、ほとんどコスト「ゼロ」の温水を牛に与えるとともに各種の洗浄など多角的に利用しています。

バルク・クーラは牛乳を冷却貯蔵する大型のミルク・タンクで、牛乳を冷やす冷凍機の冷媒はフレ

オンガスを用います。

フレオンガスは熱を運ぶ特性、すなわち熱を奪う性質があり、普通の冷凍機は、この廃熱を外部に放出しますが、伊東さんの採用した冷凍機は、牛乳から奪った熱とコンプレッサの運動エネルギーを熱エネルギーにかえて水を暖ためるシステムになっています。

多量の温水を使った時はボイラーが自動的に作動しますが、熱エネルギーは牛乳のため、毎日搾乳する伊東さん宅のエネルギー源は無尽蔵ということになります。

なお、試算によると搾乳牛三十頭、年間搾乳量六千キログラムと仮定した場合、年間九万円強の灯油が節約出来るそうです。

伊東さん宅で、このシステムを採用したのは昭和五十一年からです。寒い日でも温水をふんだんに使って器具の洗浄が出来るため、毎日の作業がとて楽です」とは奥さんの貞子さん。長男の俊之さんは「これこそ省エネ時代にピッタリではないですか」と語っていました。

石油節約策を更に強化

国では昨年以來、五%の石油消費削減対策を実施してきましたが世界のエネルギー事情の悪化から更に二%上乗せした七%削減を決めました。

全国民が七%節約しますと二十五万トンのタンカー七十二隻分に

相当し、七%節約することによって千八百万キロリットルから二千万キロリットルの石油を生産したことにもなります。エネルギー資源の少ない日本は節約以外に方法はあまりありません。私たちの回りを、一度確認しましょう。

日曜祭日当番 石油スタンド

日曜祭日	当番スタンド	日
6日	那須石油	13日
20日	笹井石油	27日
27日	興業	3日
3日	堂前石油	10日
10日	札内ツバメ	17日
17日	宗岡石油	24日
24日	山崎石油	31日
31日	三ツ輪石油	7日

30年ぶりの再会も

帝織工場の元従業員が親睦会



昭和十四年から四十三年三月まで帝織止若工場（亜麻工場）が現在の旭町団地にありましたが、この止若工場に勤めていた方々が二月十日に町民会館で親睦会を開催しました。

この日、十勝管内をはじめ遠く登別、江別などから五十七人が参加、なかには三十年ぶりに同僚と再会した方もおり、昔のこと、現在の近況などを時間のたつのも忘れて語りあっていました。

なお、親睦会の名称は止若工場であったため「止若会」とし、今後、定期的に開催するそうです。

町のニュース



新聞配達をしている子供たちの激励会が3月23日町民会館で開かれました。この日は、町料飲食店組合の皆さんから「おすし」の奉仕がありました。



町消費者協会主催の牛乳を使った料理講習会が町民会館で開かれました。



猿別青空子供会では2月21日近隣センターで「おたのしみ会」を開催いたしました。この日は雪像を作ったりミニスキーで楽しんだ後、お母さんの手作り料理で楽しい一日を過ごしました。

スポーツ傷害保険に加入しましょう

スポーツ人口の増加につれて思わぬ事故も多くなり、備えて、スポーツ傷害保険に加入したいものです。この保険に加入出来る団体はスポーツ団体および社会教育関係の団体で、小中高生も加入出来ますが、学校管理下における傷害事故は支払いの対象になりません。

わけられ、一種は年額三百四十円から六百八十円、二種は千六百円から九千円。万一の場合は最高千二百万円が支払われます。

なお、加入などくわしいことは教育委員会社会体育係におたずねください。

ゆずります

●学習机 ●ソファベット
●一人掛ソファ
価格は相談のうえ。幕別町消費者協会・豊田満代・電話 四一八二〇番

護ってほしい方は直接、話しあいください。この欄に掲載希望の方はご連絡ください

町社会福祉協議会へ：

▽山崎武雄さん（途別）から五万円
▽島田ミサさん（千住）から二万円
▽上野初代さん（新和）から二万円
▽土井博詞さん（明野）から十万円
▽塚本正一さん（相川）から三万円
▽上原昇さん（相川）から五万円

町愛情銀行へ：

▽高橋勇太郎さん（中央町）から五万円

町へ：

▽逢坂又市さん（錦町）から消防施設整備資金として百万円

土井博詞さんから幼児ことばの教室に使うほしいと五万円

消防団第一分団へ：

▽三好勝さん（西猿別）から二万円
十勝愛育園へ：

匿名の方から舟型シート一台

▽匿名の方から舟型シート一台
教育委員会へ：

▽幕別藤幸会から九万円
▽石塚由喜子さん（軍岡）から児童心理学など図書三十冊
▽横川さとみさん（本町）から図書十三冊

▽松浦秀夫さん（千住）から外国の文献図書五十四冊
▽下野一雄

さん（春日町）から児童図書三十冊

老人クラブへ：

▽日新老人クラブに木田一さん（豊岡）から二万円
▽幕別老人

寄付者のお名前

クラブに山崎ヤスさん（錦町）から五万円、三好勝さんから二万円
大和講幕別支部から二万円
▽宝町老人クラブに山本甚蔵さん（宝町）から五千元、林源松さん（宝

町）から五千元、大和講幕別支部

から一万円
▽札内鉄南老人クラブに嵐速行さん（帯広）から一

五千元
▽札内寿会に島安さん（泉町）から一萬五千元、札内太

師講から一万円、角田信夫さん

（中央町）から一万円、千賀多金治さん（西和）から一万円、晒谷

ちよさん（豊町）から一万円、▽榊内老人クラブに鈴木道雄さん

（中里）から三万円、▽途別老人

クラブに山崎武雄さんから五万円
▽西猿別おたのしみ会に三好勝さんから一万円
▽相川南老人クラ

ブに新名善雄さん（相川）から一

万円
▽相川老友会に篠原登さん（相川）から二万円
▽相川北老

人クラブに上原昇さん（相川）から三万円
▽駒島老人クラブに佐

藤庵さん（駒島）から三万円、高

橋としえさん（駒島）から五万円、堀内善典さん（駒島）から一万円

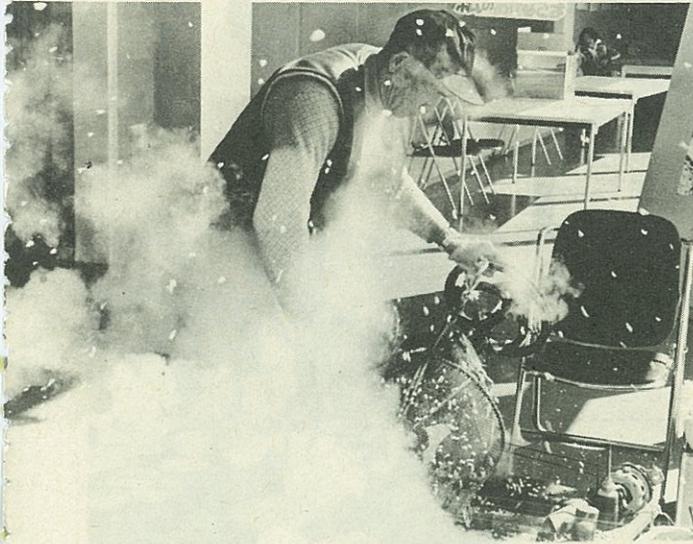
▽明倫老人クラブに松岡正二さん（明倫）から三万円
▽美川老人

クラブに松岡正二さんから一万円

▽旭町老人クラブに大和講幕別支部から一万円

ふるさと館・ひなまつり

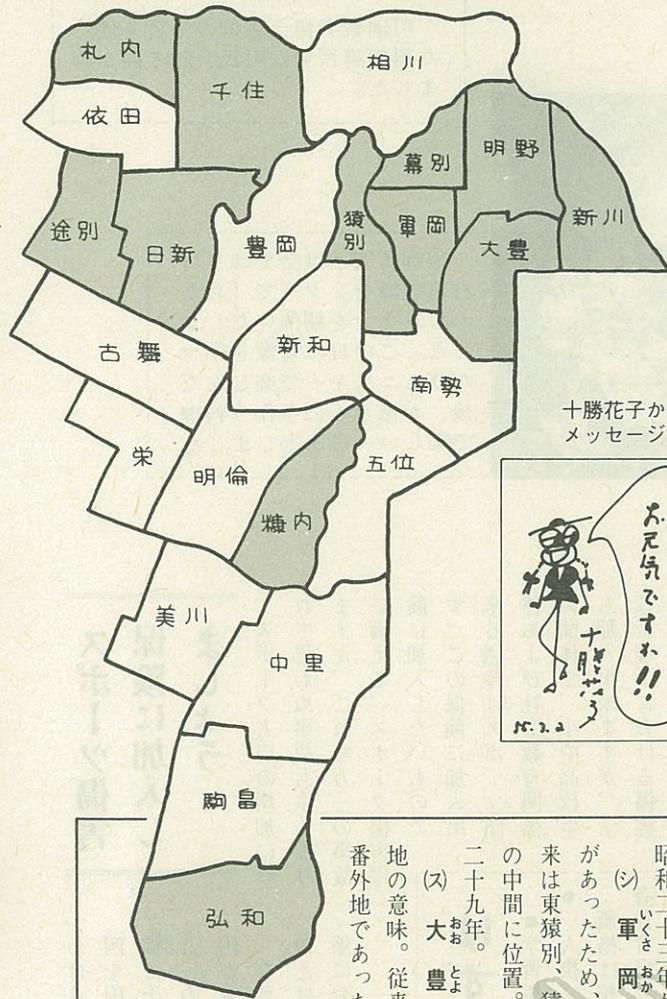
『どん』が登場



ああ、なつかしの「どん」▲

二十五歳くらいから上の人なら、「どん」という機械を覚えているでしょう。幕別にも十数年前までありました。コースで釜を熱して内圧を高めておいて瞬間的にフタを開くと、その名のとおり『ドン！』という音とともに、見

てました。そこで今度は、町外を捜し、忠類村に今でも営業している人がいると聞き出張実演をお願いしました。左の写真は、どんができ上がる瞬間。当日来館していたみなさんは、なつか



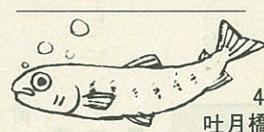
十勝花子からのメッセージ▼



第3回特別展 まくべつ 春の百科

4月20日(日)から館内・「みんなの広場」で

お待たせしました



サケの放流

4月20日(日)・午後2時から
吐月橋(幕別温泉の坂の登り口)で

事にふくれあがった米、大豆、とうきびが飛び出すという寸法ふるさと館では三月二日に、「どん」を使って、ひなあられを作ろうと町内に機械が残っていないか捜しましたが、残念なことに幕別では見つかりません

NHKが生中継

また、この「ふるさと館・ひなまつり」はNHKが生中継、レポーターとして十勝花子がやって来ました。放送時間には、お客さまがなんと三百人。テレビとタレントの力は偉大なのだと、あらためて知らされた一日でした。

しさに目を細めていました。できあがったどんは袋につめて、甘酒やひしもちといっしょに無料サービスをしました。

実演していただいた菊川多吉さんのお話では「米や豆が乾燥しすぎるとふくらまない。瞬間的にフタを開かないと元の大きさと変わらず、焦げて出てくるだけ」と、コツがなかなか難しそうです。

連載・第3回

幕別ものがたり

(2) 地名のルーツ (その3)

前回について今月号は、明野・軍岡地区および他町村に隣りあっている地域をご紹介します。

(コ) 明野 前途に光明の輝く地という意味。幕別市街の東側で大津街道(旧国道)の幕別町への入口であった。

(オ) 新川 十勝川の切りかえ工事の流れが新しくなったことからついた地名。町の最も東側で、その東側は池田町、南は豊頃町と接している。もとは池田町に属し昭和二十三年から幕別町となる。

(シ) 軍岡 戦中に軍の飛行場があったため、この名がつく。従来は東猿別、猿別市街と武山市街の中間に位置。最初の入植は明治二十九年。

(ス) 大豊 大いなる豊かな土地の意味。従来は止若高台、軍岡番外地であった。軍岡の東側に隣接している。

(小助川勝義・記)

▲地名とその区域

■は既にこのコーナーに登場した地域

は既にこのコーナーに登場した地域

は既にこのコーナーに登場した地域

は既にこのコーナーに登場した地域

は既にこのコーナーに登場した地域

は既にこのコーナーに登場した地域

は既にこのコーナーに登場した地域

は既にこのコーナーに登場した地域